

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2396300010
事業所名	グループホーム設楽名倉の家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 近隣住民への挨拶から始めたつきあいは、隣接畑の持主が利用者のために花を植えたり、野菜を持って来たりする等、徐々に広がってきている。地元の中学生在が訪れ、利用者や職員へ質問を中心とした交流会を行っている。地元の利用者も多いので、婦人会や老人クラブ等の訪問もある。ホームでは、良い機会として訪問時の写真を撮り、訪問者の家へ持参して関係を深める努力をしている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取り組み（外部評価項目：3） 運営推進会議は年6回開催され、高齢者相談センター職員、町民課長、民生委員、家族、利用者、館長が出席している。これまで参加の無い区長と知見者には、継続して参加依頼の働きかけを行っている。会議では“職員不足”の問題が多く話し合わせ、職員の休憩所についての提案があり、改善に向けて現状で出来る範囲の工夫をしている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 運営推進会議に、毎回高齢者相談センター、町民課長の出席があり、ホームの状況が理解されている。町から依頼された利用希望者を受け入れるため、情報交換や問題解決に向けての話し合いを行って連携を深めている。また、手続き等で定期的に役所に出向き、現状の報告を行っている。町主催の研修会に出席した職員が、資格を取得している。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） ホーム玄関に意見箱を設置し、面会時や運営推進会議で意見、要望等を聞いている。年に一度、嗜好調査のアンケートを行い、献立や行事食に反映させている。運営推進会議で、利用者のホームでの生活の様子を詳しく知りたいとの家族からの要望があり、個別に写真入りの近況報告としての便りを出すことにした。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	—	—	—	—	—	○	○	○	○		